

令和6年度学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立小平西高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）
 (2) 事務局の構成 主幹教諭(生活指導主任)=事務局長、主幹教諭（総務保健主任）計2名
 (3) 内部委員の構成
 校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部主、生活指導部主任、総務保健部主任）、主任教諭（進路指導部主任）計7名
 (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
 武蔵野美術大学教授、小平第五中学校長、小平第十二小学校長、近隣有識者、近隣自治会2名、同窓会長、PTA会長 計8名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
 第1回 令和6年6月20日（木）校長室 内部委員7名、協議委員5名
 ア 令和6年度東京都立小平西高等学校学校運営連絡協議会委員及び評価委員名簿
 イ 令和6年度学校経営計画、管理運営規程、令和5年度学校経営報告、令和6年度分掌目標
 ウ 令和6年度いじめ防止基本方針、令和6年度年間行事計画、令和6年度学校要覧、2025入学生対象学校案内
 エ 協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、意見交換等
 第2回 令和6年11月20日（金）校長室 内部委員7名、協議委員5名
 ア 各分掌からの取組状況（生活指導部、総務保健部、教務部、進路部）
 イ 令和5年度学校評価アンケート（生徒、保護者、地域社会、教職員）
 ウ 2024学校案内
 エ 協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議等
 第3回 令和6年3月8日（金）から同月18日（月）まで（書面開催）資料を送付
 ア 各分掌からの取組結果（教務部、生活指導部、進路部、総務保健部、各学年）
 イ 令和5年度学校評価アンケート（生徒、保護者、近隣の方々、教職員）結果と分析
 ウ 令和5年度第3回学校運営連絡協議会（書面開催）意見書
 エ アンケート結果と分析を送付し、学校運営に関する提言や自由意見を返信
 (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 第1回 令和6年11月24日（金）相談室 内部委員1名、協議委員1名（欠席2名）
 ア 学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討
 イ 今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
 「学校への理解」、「教育活動への意欲」、「学校の実践」の観点で実施する。
 (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 ア 12月 全校生徒 対象：805人 回収：661人 回収率：82%
 イ 12月 保護者全員 対象：805人 回収：570人 回収率：71%
 ウ 12月 地域・住民 対象：230人 回収：54人 回収率：24%
 エ 12月 教職員 対象：57人 回収：57人 回収率：100%
 (3) 主な評価項目
 学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、働き方改革等
 (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 集計結果について 主な項目の肯定割合（%）（ ）は昨年度

質問番号	項目	生徒	保護者	教職員	地域
①	学校満足度	86.9(77.4)	87.7(86.0)	81.0(79.1)	77.5(95.7)
⑤	進路指導	84.5(84.7)	65.2(65.8)	93.1(91.8)	81.3(75.0)
③	主体的な学び	78.1(67.1)	72.7(60.6)	74.5(63.8)	70.8(68.8)

⑥	生活指導	93.0(90.7)	82.2(89.9)	43.1(75.5)	20.0(54.8)
⑦	学校行事	91.4(87.0)	89.5(82.5)	91.2(83.7)	45.5(94.1)
⑧	部活動	81.2(80.0)	67.9(69.6)	91.4(85.7)	—(94.1)
⑨	S N S 使用	93.0(92.5)	85.4(90.7)	40.4(30.6)	—(61.1)
⑩	いじめ対応	87.0	77.2	92.9	—
⑫	働き方改革	—	64.9	77.5	—

ア 令和5年度は質問項目を追加し、12項目とした。保護者アンケートはWeb限定、生徒及び教職員はWebと紙媒体との併用で実施した。保護者のWeb限定回収率は大幅に上昇したが生徒の回収率が低下した。

イ 体育祭・文化祭・合唱祭等の学校行事内容が、コロナ禍以前の水準に戻り、熱中症対策や保護者及び地域との連携を図りながら実施できた。部活動は、熱中症・感染症対策のもと大会参加や練習試合等実施できた。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

ア 生徒は概ね授業について満足しているが、科目によっては必ずしも満足していない生徒も存在する。

全ての教科で分かりやすく丁寧な授業を進め質問や相談には真摯に対応し、補習や講習を充実させる。

イ 通知やアンケートのほか、生徒に配布したプリント等もWeb配信する等、保護者との連携を図る。

ウ 交通ルールとマナー遵守の徹底や自転車ヘルメット着用について、生徒の主体的な行動を保護者や警察等と連携し指導していく。

エ 教職員や部活動指導員等の研修について、改めて教育者としての心構えを重視し、適切な言動等の徹底を図る。

オ 生徒及び保護者に対し「受容・傾聴・共感」の態度で誠実に応対するとともに、生徒の人権を尊重した上で、生徒の思いを汲んで、教職員の主観を押し付けないように留意する。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

体育祭・文化祭・合唱祭の学校行事や交通安全教室等で、地域との連携を深めることができ、本校の教育活動への理解が進み、次年度に向けた具体的な課題を明確にすることができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

ア 上位大学等への進学希望生徒の学習指導を全校体制で進める。

イ 施設・設備の整備は重要な課題であるため、随時、修繕と清掃の徹底を継続する。

ウ 生徒の自転車乗車マナー及びヘルメット着用等の徹底は難しい課題ではあるが、警察署や保護者等と連携を一層深め、指導を継続する。

エ 校則について、生徒に議論させるとともに学校側の要望も提示して、学校評価を高めることと矛盾しない校則を生徒に考えさせる等、全校体制での取組を進める。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

全ての教育活動において、生徒が主体的に考え行動できるように、保護者及び地域との綿密な連携を継続する。教職員のコンプライアンス向上を推進し、地域社会から信頼される学校を構築するとともに生徒及び保護者から本校の教育活動に対して理解と共感が寄せられる学校を目指す。また、働き改革をより一層推進し、教職員の健康増進と合理的かつ効果的で効率的な業務遂行及び職場環境を構築する。

(2) 学習活動

ア 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、生徒一人1台端末等を活用したハイブリ

ッドな指導方法を構築する。

イ 生徒の基礎学力の定着を図りつつ主体的、対話的で深い学びが展開できるように授業改善に努めるとともに、上位大学等への進学志望生徒の学力向上につながる取組を推進する。

(3) 特別活動

学校行事や部活動等で生徒が主体的に行動し、保護者や地域と積極的に連携することを通して、生徒の自己有用感や自尊感情を育み、学校への理解や協力を仰ぎつつ、学校の特色化や学校の魅力に繋がるよう、より一層の改善を図る。

(4) 生活指導

警察署や保護者等との連携を深め、自転車安全運転指導の推進と自転車乗車マナーの向上を推進し、基本的生活習慣の定着に向け、全校体制で指導を継続する。

(5) 健康・安全

特別な支援を必要とする生徒への対応について、教職員への啓発を進め、スクールカウンセラーや外部人材を活用した指導体制を充実させる。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
6	2					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】職員会議0回、企画調整会議0回

基幹会議ではなく、交通安全教室（スケアード・ストレイト）に協議委員2名が参加する等、交流機会を設け、連携強化を図った。

8 その他

(1) 保護者・地域社会のアンケート回収率を向上させるため、質問内容を含め改めて検討する。

(2) 評価精度の更なる向上のため、地域社会との連携を進め、学校公開の機会を増やしていく。